

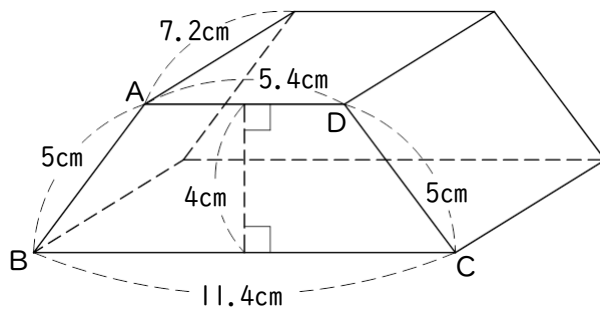


学年		クラス		氏名	
----	--	-----	--	----	--

下の図のような、底面が台形  $ABCD$  である四角柱があります。この四角柱の高さは  $7.2\text{cm}$  です。直線  $AB$  の長さは  $5\text{cm}$ 、直線  $BC$  の長さは  $11.4\text{cm}$ 、直線  $CD$  の長さは  $5\text{cm}$ 、直線  $DA$  の長さは  $5.4\text{cm}$  です。また、直線  $AD$  と直線  $BC$  は並行で、台形  $ABCD$  の高さは  $4\text{cm}$  です。

この四角柱の体積は   $\text{cm}^3$  です。

また、この四角柱には面が6つあります。それらの面積をすべてたすと、  $\text{cm}^2$  になります。

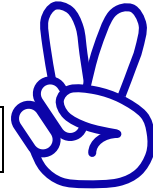


学年

クラス

氏名

解答・解説



Success+

## 【解答】

体積…241.92

面積…260.16

## 【解説】

台形A B C Dの面積は

$(5.4 + 11.4) \times 4 \div 2 = 33.6$  [cm<sup>2</sup>] なので、  
四角柱の体積は、 $33.6 \times 7.2 = 241.92$  [cm<sup>3</sup>] です。

6つの面の面積の合計を考えると、  
まず、台形A B C Dが2つあり、残りの四角形は、  
すべて、たての長さが7.2cmの長方形なので、  
1つにまとめて、計算します。

$$33.6 \times 2 + 7.2 \times (5 + 11.4 + 5 + 5.4) = 67.2 + 192.95 \\ = 260.16 \text{ [cm}^2\text{]}$$

